



さいかい

2018.9
vol.104



会長
Chairman
沖



副会長
Vice chairman
前園



副会長
Vice chairman
永石

長崎県士会 新体制キックオフ！！

九州作業療法学会

燃える男
原田 洋平

県北の星
小出 将志

大村の
畑田 美恵

臨床実習
指導者研修

地域作業療法
研究大会

MTDLP

博士号
森内 剛史

猛を掴んで
山口 幹



精神予防
離島地区
Islands
久和



発達支援
学術局
Academic
森内



地域包括ケア
事務局・広報局
Secretariat
Public relations
福島



認知症支援
長崎地区
Nagasaki
川口



教育局
Education
片田



長崎地区
Nagasaki
小中原



県北地区
North area
日南



事業局
Business
黒木



県北地区
North area
小出



県央・県南地区
Central &
South area
畑田



県央・県南地区
Central &
South area
原田

Contents

〈特集〉 理事紹介

パパさんOT

第25回県学会の報告レポート

〈特集〉 長崎県作業療法士会 新人紹介

第26回県学会開催のお知らせ

第26回県学会の

要項が掲載されています。

演題募集期間 9/1～10/31

OT 学会きてね



平成30年度（一社）長崎県作業療法士会 理事紹介

○平成30年度定時総会にて、当会体制が決定しました。

○各局・各地区の担当理事に今年度の抱負やコメントをいただいています。

○是非、ご一読いただき、理事と一緒に、当会を盛り上げていきましょう。

長崎県作業療法士会 会長 沖 英一（和仁会病院）

変革の時期

平成30年度は、変革の時期になりました。

4月には、介護報酬・診療報酬の同時改定に始まり臨床現場では対応に追われたことでしょう。2年に一度の診療報酬改定、3年に一度の介護報酬の改定によってその都度、働き方が劇的に変化するわけではないが、それなりに体制を整えていかなければならないのが実情でしょう。

今年5月の日本作業療法士協会総会では、新しい作業療法定義が決定しました。これには5年間も議論されてようやく決定した経緯があります。新定義は、「作業療法は、人々の健康と幸福を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点を当てた治療、指導、援助である。作業とは、対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為を指す。」この新しい定義に沿ってさまざまな分野で作業療法を多くの人に提供し、その良さを知ってもらうことを願っています。それには、現場にいる作業療法士一人一人が広告塔として働いていくべきでしょう。

6月には、県土会の総会が行われ新旧の理事の交代が決定しました。一部人事を入れ替えて新しい組



織体制で理事会を運営していきます。作業療法士の質を担保するために重要な教育局の中に、生涯教育部（現職者研修会）と養成教育部（臨床実習指導者養成研修会）を分けて人材育成を行う計画です。

また、制度対策局を設けOT協会からの新しい情報を伝達することに努め、その時々が必要とされる制度に対応する部署とします。

長崎県の21市町（13市8町）では、その行政独自の地域包括ケアシステムを構築しています。同じ県内でも、制度が異なってきていますので会員一人一人が情報収集を行い各地域独自の制度を理解して支援を行っていかねばなりません。県土会を長崎地区・県北地区・県央地区・県南地区・離島地区と分けて理事を配置しています。それぞれの地区ごとに会員相互の活動を活性化し地域に根差した作業療法を展開してほしいと考えます。



副会長 前園 健之（枉葉病院）

今期もまた副会長に就任しました枉葉病院に勤めます前園健之です。さて今期で何期目でしょうか？第42回全国作業療学会（H19年）が長崎で開催した時には、既に副会長を拝命しておりましたので10年以上になるかと…長いようで早いようで。

さて今期を最後に後進に道を譲る気持ちで今期を務めさせていただく所存です。士会での一番の仕事は「倫理担当窓口」もやっていますが、それ以上にMTDLP（生活行為向上マネジメント）の普及・推進・定着だと思っています。MTDLP研修を始めてから5年目を迎え、会員の基礎研修修了率は目標の60%に届く所まで来ました。しかし、実践研修はまだ目標の30%に遙かに及んでおりません。MTDLPは作業療法の「30cmの物差し」、見える化のツールです。是非とも作業療法士である以上は、MTDLPの理解と実践を目指して臨床の場で活用して下さい。研修は何度参加しても構いません。士会HPのMTDLPバナーをクリックして見て下さい。



長崎地区理事 小中原 隆史（訪問看護ステーション すみ香）

27歳の時に理事を拝命し、長崎地区理事に就任させて頂いてから13年目を迎えることが出来ました。私は鹿児島から就職してきましたので、就任当初は分野を超えて色々な人と顔見知りになり、話せる仲間を作るために理事という役割はもってこいでした。反面、理事推薦の話を先輩OTより頂いた時はかなり悩み、学生時代の恩師に相談したところ、「仕事をしていたら色々な風が吹く、風が吹いた時に張る帆は持っておけ」と言われ、その言葉とこれまで協力して頂いた会員の皆様のおかげでここまで続けることが出来たと思います。この場を借りてお礼を申し上げます。

今期も皆様の持っている帆を少しずつお借りしながら、地区事業、県士会事業を推進して行きたいと考えております。生活を少し工夫して貸せる帆を創ることが出来たら、ご協力宜しくお願い致します。



事業局担当理事 黒木 一誠（長崎北病院）

この度、理事会の推薦を頂き5期目の理事を務めさせて頂くことになりました、長崎北病院の黒木です。私は引き続き、事業局を担当させて頂きます。局内に地域包括ケア対策部を設置し今年で3年目を迎えます。昨年は広報局と協力し作成したリーフレットを、行政や県内の地域包括支援センター等に、理事を含めた各地区の担当者が配り、顔つなぎと共に活動の場の拡大に取り組みしました。

また、他団体と協力し「地域リハ専門認定研修」を開催し、受講修了者を地域へ派遣しています。事業局でも各地区単位での情報共有や派遣ができる様に、整備を進めて行きますので、会員の皆様にはぜひ積極的に参加して頂き、今一度自分が住んでいる地域に目を向け、ご尽力頂ければと思っています。組織・個人の双方が共に成長していけるように、私も微力ながら取り組んで行きたいと思いますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



事務局・広報局担当理事 福島 浩満（長崎医療技術専門学校）

早いもので理事4期目です。①家庭、②趣味、③仕事の順の作業バランスでやっています（笑）。今期から事務局長、兼広報局長を務めることになりました。なかなか大変そうですが、医技専での管理業務や広報業務の経験も活かせるかなと思っています。意外と？ついつい思ったこと言っちゃうタイプなので、関係者の皆さま、何卒よろしくお願いします。

両局に直接関われるメリットを考えて、会員の皆さんが県士会や協会の情報を把握しやすい環境を作っていきます。皆さまには情報の「受信」を意識していただき、県士会活動への積極的な参加をお願いします。また会費納入と異動等の情報変更の連絡もお忘れなく。



県北地区・制度対策局理事 日南 雅裕（佐世保北病院）

引き続き県北地区理事と今年度新設された、制度対策局理事を担当させて頂く事となりました。今年度は県北地区での県学会開催となります。前回の県北地区での県学会は学会長として関わらせて頂きましたが、今回は地区理事としてその調整役やお力になればと思います。

またその他に現職者選択研修の開催、OTの啓発活動など様々なことが滞りなく行えるよう、各機関への連絡・調整をして参りたいと思っています。

制度対策部理事としては立場や職務などまだ正直よく分からず、私でお役にたてるのか心配なところもあります。皆様のアドバイスをお聞きしながらフレッシュな気持ちで努力していきたいと思いますので宜しくお願い致します。少しでも県士会の発展に寄与できれば幸いです。



新理事！ 県央・県南地区理事 畑田 美恵（大村共立病院）

この度、県央理事に就任しました。大村共立病院の畑田美恵です。卒業してから17年、精神科である当院にお世話になっており、現在、私はデイケア部門に勤務しています。

趣味は音楽を聴くことで、車の運転をしながら、車内で熱唱するのがストレス発散になっています。また、体を動かすことも好きで、時間があれば登山をしたいのですが、最近はまだ登っておらず、残念に思っているところです。

これから、県央地区の理事として各施設で働く会員の皆さんをつなぐ、そして、地域と私たち作業療法士をつなぐ架け橋になれるよう頑張ります。わからないことだらけで、皆さんに助けていただくことがたくさんあると思いますが、どうぞ、よろしくお願いします。



新理事！ 長崎地区理事 川口 幹（長崎リハビリテーション病院）

今年度より長崎地区理事を務めさせていただくことになりました。

長崎に来てあっという間に10年が経ち、40歳を前に、このような大きな役割を担う機会を頂き、ありがたいような申し訳ないような気持ちでいます。

毎日、目の前の患者さんやご家族、スタッフのことで精一杯ですが、何とか自分のキャパシティを広げながら、ベテラン小中原理事についていきたいと思っています。会員の方々にとって少しでも有用な活動が行えるよう取り組んでいきます。

どうぞよろしくお願い致します。



新理事！ 県央・県南地区理事 原田 洋平（長崎県こども医療福祉センター）

長崎県立こども医療福祉センターの原田洋平と申します。この度、県央・県南地区担当理事に就任させていただくことになりました。

以前は、県外で身体障害領域の回復期病院、長崎県立島原病院（現・長崎県島原病院）、長崎県上五島保健所で勤務しておりました。微力ではございますが、長崎県作業療法士会の発展に力を尽くして参りたいと願っております。

今後とも、御指導御厚情のほど、お願い申し上げます。



新理事！ 県北地区理事 小出 将志（耀光リハビリテーション病院）

この度 平成30年6月30日付をもちまして県北担当理事に就任いたしました、耀光リハビリテーション病院の小出将志と申します。33歳、いて座のA型です。趣味はバスケットボールと漫画（ワンピース）とゲームとゴルフとスノーボードです。

私が所属している社会医療法人財団白十字会は、急性期から生活期まで幅広い施設を有しており、私はそのすべての病期とデイサービスの所長、経営企画室において経営に携わるようなことまで経験させていただきました。また、県士会活動においてはMTDLP班員として数年間MTDLPの発展に携わらせていただいておりますので、それらの経験を生かし、微力ではございますが 長崎県作業療法士会の発展に力を尽くして参りたいと願っております。今後とも前任者同様、ご指導ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



新理事！ 学術部理事 森内 剛史（長崎大学病院）

この度学術部理事に任命されました長崎大学病院に所属しております森内剛史と申します。2012年に作業療法士免許を取得してから、今年で7年目になります。まだまだ若輩者で学術的にも、力が及ばない部分もあるかと思いますが、県士会会員の皆様と共に協働して、長崎県の作業療法士全体の学術的な底上げに寄与できるよう精進していきたいと思っています。

今後、学会発表や論文投稿等に対して、相談支援していく体制を整えていきたいと考えておりますので、どうぞ皆様方からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



教育局へのQ&A

今回、皆さんがわかっているようで
実は知らない現職者研修の事について
教育局長の片田美咲先生にお答えいただきました。

Q：現職者共通研修と現職者選択研修とはなんですか？

A：日本作業療法士協会が取り組んでいる、会員の生涯教育制度の一環で、基礎的な研修として位置付けられています。現職者共通研修の受講テーマは10テーマあり、1～8までが座学で、9及び10は質疑応答を伴う聴講と、実際の発表から成り立つ「事例報告会」です。共通研修の10テーマは、受講必須。現職者選択研修は、「MTDLP基礎研修」が必修受講とされ、残り1領域の受講が必要です。「身体障害領域」「老年期障害領域」「発達障害領域」「精神障害領域」があり、自分自身の職域の領域の受講が望ましいです。現職者共通研修及び現職者選択研修は、他県での受講も認められます。

Q：現職者共通研修と現職者選択研修「いつ」「どこで」開催され、情報はどこで調べたらよいですか？

A：今年度開催予定日に関しては、県士会ホームページに掲載しています。詳細については、研修会開催前に、県士会ホームページ、Fネット、教育局Facebookでアナウンスするので、各自で情報を収集してください。

Q：今年から共通研修の「事例報告」「事例検討」が開催されなくなりました。どのように取得すればよいのでしょうか？

A：これまで、「事例報告」の読替制度による履修が増加したことで、「事例報告会」の開催が困難な状況になりました。平成30年度より、「事例検討」の読替制度ができたため、検討の結果、今年度は、両者とも読替制度に該当する「MTDLP事例検討会」での対応を試みることとなりました。「MTDLP事例検討会」への参加基準は、現職者選択研修の「MTDLP基礎研修」を受講修了している者としているため、出来るだけ早い段階で「MTDLP基礎研修」の受講をお勧めします。

Q：現職者選択研修はどのように選択すればよいのでしょうか？

A：現職者選択研修は、「MTDLP基礎研修」が必修受講とされ、残り1領域の受講が必要です。「身体障害領域」「老年期障害領域」「発達障害領域」「精神障害領域」があり、自分自身の職域の領域の受講が望ましいと思います。他県での受講も認められます。

Q：基礎ポイントは何ポイント必要で、どのようにしてポイントを集めればよいのでしょうか？

A：基礎ポイントとは、自身の自己研鑽を証明するための制度であり、協会や県士会が認めた各種SIG団体での研修会や学会、勉強会等に参加し、その参加を証明する書類等を提出することで得られる物です。基礎研修修了に必要なポイントは50ポイントで、その取得に期限はないため、過去の証明書等あれば、切り替え申請を行うことが望ましいです。切り替え申請は、現職者共通研修・現職者選択研修の受付、長崎県作業療法学会においては教育局ブースにて対応しています。返信用封筒同封の上、郵送しても可能です。返信用封筒が同封されていない場合、返送不能となるため、注意して下さい。
郵送先 〒852-8045 長崎市錦2丁目1-1 にしきの里 片田美咲 まで

Q：研修受講カードとはなんですか？ 研修には必要なものでしょうか？

A：平成30年度より、協会会員証がデジタル会員証に移行し、会員証明はスマホやタブレットなどの画面で提示するか、印刷したものを提示するかで行う事となりました。同時に、「研修受講カード」システムが導入され、今後、準備が出来次第、この「研修受講カード」の裏面に記されているバーコードを読み取って、研修受講を受け付けることとなります。そのため、生涯教育手帳・研修受講カード・デジタル会員証（印刷可）の3点は、必ずセットで持参することが求められます。

Q：士会裁量ポイントとは？どのように申請したらよいですか？

A：県士会費の納入確認が取れた会員に対し、事務局より、今年度県士会会員証明のシールが送付されます。同時に、士会裁量ポイント証明用紙が添付されているため、士会事業や、県士会主催・共催・後援の各種研修会へ協力する場合、その主催者に証明の捺印をもらうことで、協力の証明となります。士会裁量ポイントは2ポイントが最大であるため、2事業への協力が証明された場合、返信用封筒同封の上、上記基礎ポイント郵送先に送付するか、長崎県作業療法学会の教育局ブースに持参してください。士会裁量ポイントは、年次事業であり、次年度での申請は受け付けられないため、たとえ1事業の協力証明しかなくとも、年度内に各自の責任の上、申請を行ってください。

Q：基礎研修が修了した場合の申請の方法は？

A：「現職者共通研修10テーマ」「現職者選択研修2領域（MTDLP+1）」「基礎ポイント50ポイントの取得」が修了した時は、「生涯教育受講記録7ページ～基礎研修修了申請書」に必要事項を記入し、当該年度の会員証のコピーと切手を貼付した返信用封筒を同封の上、封筒の表に「生涯教育基礎研修修了申請」と手書きした上で、書留にて「協会事務局」に郵送します。その際、現職者共通研修及び現職者選択研修の研修修了確認県士会印が捺印されているか確認が必要です。捺印されていない場合は、返信用封筒同封の上、教育局 片田まで郵送してください。



片田美咲先生プロフィール

- ・長崎大学医療技術短期大学部卒業
- ・医療法人友愛会田川療養所へ勤務。
- ・2011年より同法人介護老人保健施設にしきの里へ異動
- ・2011年より教育局理事へ就任
- ・好きな食べ物：辛い物全般
- ・趣味：アロマセラピー

基礎研修終了後は、認定作業療法士取得に向けて挑戦を行ってほしい。また、領域が該当する場合は、専門作業療法士取得も目指してほしい。生涯教育制度について不明な点は、各種研修窓口にて遠慮なく質問していただきたい。 —OT片田

お父さんOTへのエール

今回はお父さんOTへのエールというよりは、OTであり、父親でもある私が考えていることを書かせていただきます。

私は今年でOT12年目になるのですが、正直に言いますと、12年間OTとして一生懸命に頑張ってきたという自信はありません。佐世保の地で働きはじめた最初の3年間くらいは自費で研修会にも足を運ぶことも多かったですが、4～7年目くらいは遊ぶことに時間を使うことが多かったと思います。結婚を機に8年目のスタートを現職場である長崎北病院で迎えるとともに、子供も授かり、生活が一変しました。

これまで遊びと仕事の両立しか考えていなかったのが、家庭と仕事の両立に変わりました。職場も変わり、佐世保の友人達ともなかなか会えなくなり、楽しみだった仕事終わりの食事やカラオケ、飲み会などが出来なくなり、仕事から急いで帰り奥さんが作ったご飯を子供に食べさせ、お風呂に入れてその日が終わるという日々の繰り返しでした。そんな状況で新しい職場と家庭環境の変化に

佐世保の仲間達

(写真を撮影したのが自分だったので、自分自身が写ってませんでした。)



私がもう一つ重要と考えているのが県士会活動への参加です。自分は現在、広報局の一員として活動をしています(微力ながら)。県士会の仕事に時間を割くことは簡単ではありませんが、これまで先輩方が大変な思いをして作り上げてきてくれた土台の上で自分たちは働かせてもらっているのだと思います。

地区で持ち回る学会の運営協力もその一つですし、総会への参加も重要な活動参加だと思っています。まずはそういったところから参加してみてください。自分の働く職場以外のOT達との出会いや情報交換はとても新鮮で、驚くような話が聞けることもありますよ。

一緒にOTという仕事を盛り上げていきましょう！

3人の子供達とココウォークの屋上で・・・☆



なかなか順応できずに苦しみましたが、子供の存在と、家庭を支えてくれる奥さん(理学療法士)に支えられ、なんとか生活を続けています。

そんな日々の中でいつしか仕事を仕事と割り切り、効率化を求め、早く帰れるようにと変化していく自分がいました。その時、自分は何のために仕事をしているのか?と自問自答することがあります。その頃は「お金を稼いで生活をしていくため」というのが結論でしたが、患者さんから学ぶ人生観や、職場の先輩・後輩からセラピスト・社会人として学ぶことが多く、患者さんの人生再建を担うこの仕事の重要性や誇りに遅ればせながら気づくことができるようになりました。結婚前はその気になればいつでも参加できた研修会も、今では奥さんをお願いし、遊びたいという子供の視線を振り払わないと参加できませんが、やれる範囲で研修会にも参加し、知識・技術を得ることはもちろん、OTを取り巻く状況や制度のしくみを知ることで、今後OTとしてやるべき事を考えていくことも重要だと感じています。





第25回 長崎県作業療法学会

わさを磨く ～地域包括ケアを担うために～

特別講演
「地域で学ぶ」
一般公開講座
「地域包括ケア」
一般公開講座
「心身の病を持つ方への就労支援」

教育講座
「認知症地域で生きる作業療法士のわざ」 川口明史(田川療養所)
「整形外科疾患における作業療法の新展開」 許山勝弘(福岡リハビリテーション病院)
「心の病を持つ方への就労支援」 吉野賢一(田川療養所)

第25回 長崎県作業療法学会レポート

日々是県学会 準備から本番まで



2018年2月10日11日、長崎ウエスレヤン大学において、第25回長崎県作業療法学会が開催され、会員・一般合わせて2日間のべ461名の参加がありました。関係者の皆様、参加者の皆様、ご多忙中、ご協力ありがとうございました。

さて、今学会では、第25回という節目にあたりまして、テーマを「わさを磨く～地域包括ケアを担うために～」としました。個々の作業療法士が「わざ」を磨き上げ、実践した先にはなにがあるのか考える場にするために、実行委員一同で話し合いを重ね、準備を行い学会を実施しました。

今回、「さいかい」の誌面で県土会員の皆様に報告する機会を得ましたので、準備から当日まで第25回県学会の裏話など添えながら報告したいと思います。

菅整形外科病院 中山 浩介

学会長選出について

ー あいつで大丈夫か？

噂には聞いておりましたが、県央・県南地区の県学会長は飲み会で決めます。私は誰かがするさ、と軽い気持ちで地区の懇親会に参加したのですが、酒に酔った時に気が大きくなる悪い癖がでまして、引き受けることになりました。後で私が学会長を担うことに対して、あいつで大丈夫か？という声も聞かれましたが、決まってしまったので腹を括ってやるしかないと思い直し、準備を始めました。学会長をすることを言い訳に全国学会や研修会に遊びがてら参加させてもらったり、OTの飲み会に顔をだしたりして、楽しむことができました。そんなことをやっているうちに学会のイメージが膨らみつつありました。

準備会議運営について

ー 喝！からのスタート

当初学会長の私が議長で会議を進行していましたが、膨らみ過ぎたアイデアが先行し、具体的な話が煮詰まらない状況でした。そういう状況をみかね、ある日、先輩OTがやって来られ、「これが会議か？このプログラムには芯がない！」と強烈な喝！を入れてくれました。この一言は、私たちが目指すことを再確認するきっかけになりました。私たちは会議の進行の仕方から見直すことになり、

円能寺実行委員長司会によるKJ法を取り入れた会議運営で進行することにしました。議題ごとに時間を決めて話し合い、途中楽しいアイスブレイクなどがなされ進行されました。結果、会議開始時間は18:30から遅くとも21時頃には終わるようになりました。限られた時間しかない私たちにとって、学会のように大小様々なことが議題にあがる会議で効率よく進めるためには、とても良い方法であったと思いました。

実行委員・スタッフについて

ー 三顧の礼を尽くして

巻き込まれた方には申し訳ないという思いですが、人材集めは私の唯一の強みでした。実行委員は諫早市内を中心に活動されるOTの会員の中から素晴らしい人材を私流の三顧の礼を尽くして集めることができました。諫早市内にこれだけ意欲的にいろんなことに取り組まれているOTの方がいるという再発見でもありました。今回できた顔の見えるつながりを活かして、今後、諫早地区における地域包括ケアシステムを担うような活動につなげて欲しいと考えています。

学会当日は、島原や大村などの地区からの百戦錬磨の援軍（応援スタッフ）が駆けつけてくれました。これほど心強いことはありませんでした。

講演・講座について

一 匠により技は磨かれた

わさを磨くというテーマに沿って各分野、若手から超ベテランの先生までバランス良く、新しい話題で構成することができたと思います。地域共生社会に挑む高森先生と若手OT3名の発表ではOTの未来を感じることができたのではないのでしょうか。土田先生の特別講座では再度私たちの視点を確認することができました。

最終日の公開講座「笑いで介護の現場は楽しくなる」石田竜生先生の講座は、介護職の方をはじめ一般参加者にも多く参加していただきました。丸々2日間、県学会としては長丁場のスケジュールで私自身、疲労感もありましたが、最後に笑いで包まれた会場で一緒に楽しんで、疲れも吹き飛んだ気がしました。

会場について

一 地域に開かれた大学に感謝

長崎ウエスレヤン大学はバリアフリー設計で、建築や庭園など作業療法的感性を磨くためには価値がある会場だと思います。Wi-Fiなどの設備や県内各地からのアクセスも良好で会場としては申し分なかったと思います。会場を提供してくださいました学校関係者の皆様には厚く御礼申し上げますとともに今後の大学の益々の発展を祈念いたします。

演題について

一 未来へ続く学会スタイルへ

42演題の発表がありました。若手から中堅・ベテランOTが日頃の研究取り組みの成果を発表され、質疑応答も活発に行われていました。精神・発達分野のセッションも1つずつ開催されました。演題募集に関しては、演題受付期間を延長しないということをポスター・チラシ・Fネットなどの広報活動にて周知することで、目標演題数をキープすることができました。今後、演題募集期間を延長しないということがノーマルなものになることを願っております。

レセプション

一 OTらしい演出

80名ほどの参加者数があり、盛大に行われました。手作りのインスタ風フォトフレーム（写真）など企画も盛り上がり、他地区のレセプションに負けない盛り上がりであったと思います。



特別企画 一 わさを磨く展示会

過去、これほど熱気のある特別企画がありましたでしょうか？規模や内容ともに県学会の特別企画としてはバランスがよかったと感じました。福祉用具とコミュニケーションエイドをテーマにしたランチタイムセミナー（写真）も新しい試みでした。



おわりに

一 次の学会長はあなたです

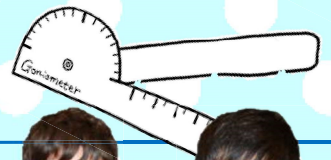
これまで私は県士会では広報局担当の理事として、過去の県学会に少し距離をおいて、関わらせてもらっていました。今回学会長として関わることになりまして、もっと多くの会員が主体的に参加できる学会にできないか、実行委員の負担を減らしながら楽しく取り組むことができないかということ、自分の課題にして挑みました。結果はいろんな見方があると思いますが、皆さんの目からみていかがだったでしょうか？

会員の参加者数を増やすことは、広報活動を目一杯やっての結果ですので、県士会の規模など考慮すると、2日間のべ400名ほど、ここが精一杯かと思っています。今後魅力ある企画で壁を破ることができる県学会が開催されることを期待しています。実行委員の負担軽減については、立案した企画が多すぎて難しくなりましたが、会議時間の短縮、実行委員の選出地域の限定をしたことは負担軽減につながっていると思います。運営のマニュアル化というところでは今後もなんらかの形で関わっていくことができればと思っています。

今回、自分たちが企画したことでたくさんのひと・もの・ことが動いてしまう責任を感じながら、楽しみながら、時には逃げ出したくなる気持ちになりながら、多くの方に頼りながら、なんとか学会長の任務を終えることができました。貴重な経験をさせていただいたと思います。まさに“日々是好日”です。今回、このような機会を与えてくださいました皆様にあたためて感謝いたしまして、私の報告とさせていただきます。

平成30年度 新入会員紹介

～新入オリエンテーションに参加された新入会員のみなさんをご紹介～



① 峯村 慧那 ② 長崎リハビリテーション学院 ③ 愛健医院 ④ ダンス、音楽鑑賞 ⑤ 得: ダンス 不: 人前で話すこと	① 荒木 安就 ② 長崎医療技術専門学校 ③ 池田病院 ④ 音楽、ドライブ ⑤ 得: バドミントン 不: バレー	① 川上 聖子 ② 長崎医療技術専門学校 ③ ショートステイ王樹 ④ バスケットボール ⑤ 得: 人の顔を覚えること 不: 暗記	
① 堀川 智希 ② 長崎医療技術専門学校 ③ 田川療養所 ④ 釣り、ドライブ ⑤ 得: おしゃべり 不: 早起き		① 勝目 省吾 ② 九州中央リハビリテーション学院 ③ 長崎北病院 ④ 温泉 ⑤ 得: サッカー 不: アルコール	① 小松 央 ② 国際医療福祉大学 ③ 長崎北病院 ④ バスケット ⑤ 得: 書道 不: 早起き
① 下村 季衣 ② 長崎医療技術専門学校 ③ 長崎北病院 ④ 音楽を聴くこと ⑤ 得: アルバム作り 不: 早起き	① 宮田 大地 ② 長崎リハビリテーション学院 ③ 長崎北病院 ④ ライブへの参加 ⑤ 得: 特になし 不: 歌う事	① 藤原 佑華 ② 長崎リハビリテーション学院 ③ 公立新小浜病院 ④ おでかけ ⑤ 得: おしゃべり 不: 座学	
	① 庄山 創 ② 長崎大学 ③ 長崎原爆病院 ④ 運動 ⑤ 得: 寝ること 不: 寝れないこと	① 長岡 祐典 ② 長崎大学 ③ 長崎原爆諫早病院 ④ フットサル ⑤ 得: お酒 不: ノンアルコール	① 川崎 萌乃 ② 長崎リハビリテーション学院 ③ 貞松病院 ④ 映画鑑賞 ⑤ 得: 集中すること 不: 細かい作業
① 大谷 陽子 ② 長崎リハビリテーション学院 ③ サン・レモリハビリ病院 ④ カラオケ ⑤ 得: リコーダー 不: 運動	① 加藤 あおい ② 長崎リハビリテーション学院 ③ サン・レモリハビリ病院 ④ カフェ巡り ⑤ 得: 写真を撮る 不: 生クリーム		① 西津 健太 ② 麻生リハビリテーション大学校 ③ 三和中央病院 ④ ドライブ、旅行 ⑤ 得: 歌う事 不: 記憶力が無いです
① 柿原 美希 ② 帝京大学 ③ 長崎原爆病院 ④ 野球観戦・卓球 ⑤ 得: 弓道 不: 道を覚えること	① 竹谷 亜衣 ② 緑生館 ③ 長崎県上五島病院 ④ 写真を撮ること ⑤ 得: 写真を撮る 不: 人前で話すこと	① 岩本 尚之 ② 長崎リハビリテーション学院 ③ 重工記念長崎病院 ④ ライブ参戦 ⑤ 得: 笑顔 不: 泣き顔	① 中村 俊貴 ② 西九州大学 ③ 十善会病院 ④ ツーリング、釣り、スポーツ ⑤ 得: スポーツ、サッカー 不: 未記入
	① 酒井 玲香 ② 福岡医健専門学校 ③ 柴田長庚堂病院 ④ 音楽鑑賞 ⑤ 得: 話を聞くことです。 患者様に寄り添っていきたい。	① 前原 菜々 ② 長崎医療技術専門学校 ③ 耀光リハビリテーション病院 ④ 音楽を聴くこと ⑤ 得: 友達をつくること 不: 早寝早起	① 田中 涼子 ② 長崎リハビリテーション学院 ③ 清和福祉会 ④ 読書 ⑤ 得: お菓子作り 不: 機械操作
① 吉川 純樹 ② 長崎医療技術専門学校 ③ 南野病院 ④ サッカー ⑤ 得: 人と話すこと 不: 初めての人と話すこと			

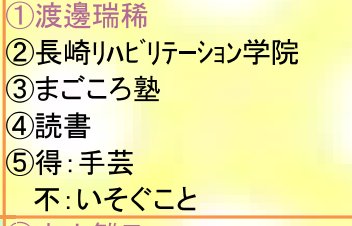
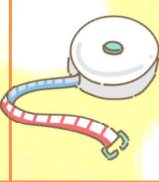
着さで頑張ります!!

ようこそ長崎県作業療法士会へ！

様々な研修会を通してスキルアップしつつ、OTの輪を広げて下さいね。

共に長崎県作業療法士会を盛り上げていきましょう！



①小柳萌 ②長崎リハビリテーション学院 ③三川内病院 ④バスケットボール ⑤得: バスケ 不: 勉強		①米澤友希子 ②緑生館 ③長崎リハビリテーション病院 ④軽く運動すること ⑤得: 遊ぶこと 不: 勉強すること	①富永航平 ②長崎医療技術専門学校 ③長崎リハビリテーション病院 ④散歩 ⑤得: 手品 不: 朝起きること
①山下紗詠子 ②長崎リハビリテーション学院 ③中澤病院 ④ライブ参戦 ⑤得: 笑顔 不: 怒る事		①川内優輝 ②長崎リハビリテーション学院 ③西脇病院 ④ライブに行くこと！ ⑤得: 書道 不: 虫	①松本里菜 ②長崎リハビリテーション学院 ③西脇病院 ④映画鑑賞 ⑤得: ピアノ 不: 細かい作業
①佐々野詩歩 ②長崎医療技術専門学校 ③耀光リハビリテーション病院 ④音楽を聴きながら散歩 ⑤得: 長〜く歩くこと 不: じっとしとくこと(笑)		①渡邊瑞稀 ②長崎リハビリテーション学院 ③まごころ塾 ④読書 ⑤得: 手芸 不: いそぐこと	
	①木山雛乃 ③長崎リハビリテーション病院 ③三原台病院 ④音楽鑑賞 ⑤得: 寝ること 不: ボールを使うこと	①常光悠司 ②長崎大学 ③三原台病院 ④サッカー ⑤得: 人と喋ること 不: 文字を読む	①吉村美里 ②長崎大学 ③三原台病院 ④旅行 ⑤得: 絵 不: 人前で発表すること
①池田結花 ②長崎医療技術専門学校 ③宮崎病院 ④映画鑑賞、読書 ⑤得: 笑顔 不: 人前で発言すること		①前田親之助 ②長崎医療技術専門学校 ③耀光リハビリテーション病院 ④スポーツ、旅行 ⑤得: バスケ 不: 料理	①織田海鈴 ②鹿児島第一リハビリ専門学校 ③長崎リハビリテーション病院 ④買い物 ⑤得: 寝ること 不: 虫
	①白川楓 ②柳川リハビリテーション学院 ③耀光リハビリテーション病院 ④買い物 ⑤得: 人と話すこと 不: 勉強		①森 愛 ②国際医療福祉大学 ③耀光リハビリテーション病院 ④バドミントン ⑤得: 友達と話し続けること 不: 早起き
①川野諄也 ②小倉リハビリテーション学院 ③耀光リハビリテーション病院 ④カラオケ ⑤得: 遊び 不: 運動	①酒井愛菜 ②九州栄養福祉大学 ③長崎労災病院 ④ピアノ ⑤得: 車の長時間運転 不: 運動	①竹内明日香 ②長崎医療技術専門学校 ③和仁会病院 ④読書 ⑤得: 絵を描くこと 不: 運動特に球技	

①カ久慧 ②長崎医療技術専門学校 ③和仁会病院 ④ドライブ、音楽、温泉 ⑤得: 笑顔 不: 早起き
--

① 氏名 ② 出身校 ③ 勤務先 ④ 趣味 ⑤ 得意・不得意



先輩方、
ようしくお願い
いたします。



一般社団法人 長崎県作業療法士会

第26回長崎県作業療法学会

2019.3.30 (土), 31(日)

CHANGE

長崎県を日本一元気な街に変えるのは、あなたかもしれない。

写真提供：長崎労災病院 和田さゆり

会員1,000円 非会員10,000円 学生無料 一般公開は無料

会場(アルカスSASEBO 佐世保市コミュニティセンター)

学会長あいさつ

学会長

長崎労災病院 中央リハビリテーション部

塚本 倫央



このたびの平成30年7月西日本豪雨により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の健康と一日でも早く平穏な生活に戻れるよう、心よりお祈り申し上げます。

第26回長崎県作業療法学会大会長を務めさせていただきます長崎労災病院の塚本倫央でございます。大会長という責任の重さを感じるとともに身の引き締まる思いです。

私は、岡山から転勤して長崎に移り住み今年で7年目になります。長崎の文化や地域にも徐々に慣れてきたところです。長崎県は、他県からみると坂の街や離島にみられる交通不便な土地であり、高齢者や障害者への配慮と整備が不可欠なのが現状です。我々長崎県作業療法士はこれら環境や文化の上でリハビリテーションを展開しています。他県と比較すると課題は多いことは言うまでもなく、これまで培われた技術や指導力は優れていると自負しています。また、各専門分野においても全国を代表する病院や施設が多いことは言うまでもありません。

今回の学会テーマは、「CHANGE ～長崎県を日本一元気な街に変えるのは、あなたかもしれない。～」です。この学会を通して若手作業療法士が自信や誇りを持ち全国に飛躍していく第一歩となる学会を目指しております。そこで、教育講演では、全国でご活躍されている長崎県の作業療法士に講演依頼をさせて頂きました。また、市民公開講座では、書家の金澤泰子氏と翔子氏、テレビプロデューサーの菅賢治氏を講師としてお招きしており、長崎県作業療法士会員のみなならず多職種や一般の方でも気軽に学会に参加できることも考慮しております。

会場は、これまで県北地区は長崎国際大学が学会会場でしたが、著名人をお招きすることで学会当日は混雑が予測され、佐世保市コミュニティセンターホールとアルカスSASEBOで実施することを決めさせて頂きました。両会場は、市の玄関口である佐世保駅にも近く市民の目にも触れやすいため、作業療法士の学会が佐世保で行われていることやその雰囲気、若手作業療法士が全国に向け何を発信しているのかがアピールできると考えております。

最後に、より多くの皆様から演題のご発表を頂くことが何よりも大切であることは言うまでもありません。素晴らしい県学会にして参りますので皆様方の多くのご参加を心から願っております。

目標は来場者1000人以上、演題数100演題、レセプション参加者150人以上です。

日本一熱い県学会を目指しています!! よろしく願いいたします。

教育講座・公開講座

<教育講座> 全国でご活躍されている長崎県の作業療法士が講師です。

教育講座Ⅰ	テーマ:先輩OTの頭の中を覗いてみたい 作業療法の可能性編 講師:淡野義長氏 (長崎リハビリテーション病院)
教育講座Ⅱ	テーマ:先輩OTの頭の中を覗いてみたい 高次脳機能障害編 講師:山田麻和氏 (長崎北病院)
教育講座Ⅲ	テーマ:先輩OTの頭の中を覗いてみたい ハンドスプリント編 講師:山田玄太氏 (愛野記念病院)
教育講座Ⅳ	テーマ:先輩OTの頭の中を覗いてみたい 精神科領域編 講師:福田健一郎氏 (真珠園療養所)

<公開講座>

公開講座Ⅰ	テーマ:共に生きる 講師:金澤泰子氏(書家)、金澤翔子氏(書家)
公開講座Ⅱ	テーマ:長崎県を日本一元気な街にするためには何が必要か?(仮) 講師:菅賢治氏(テレビプロデューサー)

レセプション



レセプション会場:

レオプラザホテル佐世保(予定)

開始: 18:30~21:00(予定)

参加費: 5000円(予定)

会場周辺の有料駐車場、他詳細な情報などは随時、長崎県作業療法士会ホームページに掲載していきます。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

駅、高速バスセンターより徒歩2~3分。佐世保みなとICより車で5分。
アルカス佐世保から徒歩2~3分。

開催要項(案)

- ◆ 会 期 平成31年3月30日(土)・31日(日)
- ◆ 会 場 1日目 佐世保市コミュニティセンターホール (佐世保市光月町6-17号)
2日目 アルカスSASEBO (佐世保市三浦町2 - 3)
- ◆ テーマ **CHANGE ～長崎県を日本一元気な街に変えるのは、あなたかもしれない。～**
- ◆ 日 程 (佐世保市コミュニティセンターホール アルカスSASEBO)

1日目	会場1(ホール)	会場2(体育館)	会場3(イベントホール)	会場4(交流スクエア)	会場5(会議室)	
9:15	受付	ポスター掲示		ポスター掲示		
9:45	開会式					
10:00	教育講座Ⅰ					
11:00	休憩					
11:10	教育講座Ⅱ					
12:10	昼休み					
13:10		特別企画1				
13:30		公開講座Ⅰ				
16:00		ポスター発表 (特別企画2)				
17:30	1日目終了					
19:00	レセプション					
2日目	会場1(ホール)	会場2(体育館)	会場3(イベントホール)	会場4(交流スクエア)	会場5(会議室)	
8:30			受付	ポスター掲示	(特別企画2)	
10:00			教育講座Ⅳ			
11:10			休憩			
11:20				ポスター発表		
12:20			昼休み			
13:20				教育講座Ⅲ		
14:20			休憩			
14:30			公開講座Ⅱ			
16:30			閉会式			

一般演題募集要項(応募受付期間:9月1日～10月31日)

1.応募資格

- 1)長崎県作業療法士協会会員は応募資格があります。
ただし、2018年度県士会会費未納者は応募資格がありません。応募前の会費納入が必須です。
- 2)多職種の方は共同演者になることができます。

2.応募受付期間

2018年9月1日(土)～2018年10月31日(水)

21時必着。

期間の延長は行いませんので応募期限の厳守をお願いします。

3.応募内容

一般演題のみの募集となります。

なお、一般演題発表を事例読替希望の方は後日、各自で申請してください。

「研究と報告」「実践報告」「事例報告」など

「その1.2」と連動せず、1演題で完結して下さい。

4.発表形式

「口述発表」と「ポスター発表」を予定しています。

5.投稿演題の使用権

演題の二次使用権・許諾権は長崎県作業療法士会に帰属します。

6.倫理的事項

対象者の同意、倫理的な配慮、著作権等への配慮について、倫理的事項を遵守し、本文中に対象者の同意についての記載が必要です。

また、研究や事例報告の作成過程にて、個人の尊厳、人権の尊重等の倫理的配慮を十分に行ってください。

なお、他の著作物を引用する場合は、本文中に出典の著者と発行年数(フルネーム、西暦)を明記して下さい。

7.抄録原稿作成上の注意

- 1)制限文字数は800文字となります。
フォントはMS明朝、大きさは演題名14ポイント、氏名・施設名・本文は12ポイントで統一してください。
なお、図表や画像の掲載はできません。
- 2)発表者を筆頭著者とし、所属が複数ある場合は氏名の後ろに所属番号を付けてください。

8.査読と採否

演題採否は査読委員の審査意見を元に委員会で決定後、投稿者に通知し、不採択時は理由を明記します。

9.応募方法

- 1)原稿はMailにて受け付けます。件名に【第26回長崎県OT学会演題申し込み】、本文に所属・氏名・電話番号を明記し、抄録原稿と演題登録申込書を添付し下記アドレスへ送信ください。
- 2)抄録フォーマットと演題登録申込書は県士会ホームページよりダウンロードしてください。
- 3)演題採択担当より登録完了のお知らせを致します。必ずインターネットアドレスにて申し込みください。
- 4)抄録修正は応募受付期間中に限り受け付けます。件名に【第26回長崎県OT学会演題修正依頼】、本文に所属・氏名・電話連絡先を明記し、抄録原稿を添付し下記アドレスまで送信ください。

10.発表時間

一律、発表時間7分以内、質疑応答時間3分です。

11.スライド作成要領

学会誌及び県士会ホームページ上に、作成上の留意点を掲載いたします。ご確認ください。

募集要項に関する問い合わせ・応募先

E-mail: ken-gakkai@nagasaki-ot.com

演題採択委員会(担当:前川 和也)

演題応募期間は延長致しません。

第26回長崎県作業療法学会では、演題登録期日の延長を行いませんので、応募期限の厳守をお願いします。

学会の事前登録をお願い致します。

長崎県作業療法士会ホームページより事前に参加申し込みをお願いします。1月頃から申し込み受け付けを開始します。

学会全般に関するお問い合わせ先

E-mail: info-gakkai@nagasaki-ot.com

第26回 長崎県作業療法学会実行委員会

イベント予定

会員みなさまの力でOTを
盛り上げていきましょう！

10月中旬 予定

島原祭り
大村健康福祉祭り
平戸健康福祉祭り

11月 予定

大村市秋祭り
島原健康福祉祭り



第25回県学会(平成30年2月10・11日開催)
のレセプションの様子です。丸々2日間、学
んで楽しんで最高にタフな県学会でした。



去る4月1日に南島原さくら祭りが開催され、遊び体験ブ
ースを出展しました。今年は地域の皆様とオリジナル体操
の発表をステージで行いました。

編集後記

こんにちは!!

今回は第25回作業療学会レポートから始まり、理事紹介、新人才リエンテーシ
ョンに参加された新人OTの紹介、来年開催される学会の情報を載せております♪
初々しい新人さんを見て、私も初心を思い出しながら、利用者さま、患者さまと
関わっていききたいと思います!!

最後に広報局では

- さいかいに掲載する写真や企画案
 - Fネット・ホームページでの研修会や勉強会情報
- を大募集中です!!! ぜひ下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

問い合わせ先：長崎県作業療法士会 広報局

アドレス：fnet@Nagasaki-ot.com

広報局長：福島

研修会等のホームページ掲載担当：福島

Fネット配信担当：生田

さいかい104号編集担当：

生田、稲田（長崎リハビリテーション病院）
牧野（長崎北病院）



広報局の新体制です。よろしくお願いします。